

道徳科学習指導案

授業日時 令和元年9月11日(水) 第6校時
 授業学級 1年A組 男子20名 女子19名 計39名
 授業会場 1年A組教室 (201 教室)
 授業者 _____
 指導教員 _____

1 主題名

『父の言葉』 (1年)

内容項目C-15 思いやり, 感謝

2 主眼

思いやりとはどのようなものなのかについて考える場面で、「私」の気持ちの変化を追ったり、どうして父は「行ってお話ししてあげなさい」と「私」に言ったのかを考えることを通して、人のことを考えて行動することの大切さについて気づくことができる。

3 指導上の留意点

導入で、黒柳徹子さんがどのような活動をしているかを学ぶことができるようにする。

4 展開

過程	学習活動【学習形態】	予想される生徒の反応や意識 (◎)	教師の支援 (・) と 評価	時間
導入	1 黒柳徹子さんについて知る。【全体】	◎初めて知った。 ◎テレビで見たことがあるよ。 ◎この人の本を読んだことがあるよ。 ◎ユニセフや福祉の活動もしている人なんだ。	・黒柳徹子さんのこれまでの人生や活動をパワーポイントでまとめたり、『窓際のトットちゃん』の一部を紹介したりすることで主人公である「私」がどのような人なのか知り、これからの物語について見通しを持つことができるようにする。	5
展開	3 資料を読み主人公の気持ちの変化を把握する。【全体・個人】	◎「私」は病気をしたけど、小さいから不安じゃなかったんだ。 ◎歩けなくなってしまうかもしれないなんてかわいそうだな。 ◎同じ状況の子がいることで「私」は安心しているのかな。 ◎歩けるようになってよかったな。	・各場面での「私」の気持ちを生徒とのやり取りをしながら黒板に整理して位置付けることで、歩けるようになった「私」が同じ病気の女の子への気持ちの変化に想起し、赤い松葉づえの女の子に会った時の「私」の気持ちを共感することができる	10
	4 なぜ赤い松葉づえの女の子に声をかける勇気がでなかったのか考える。【全体・個人】	「言ってお話ししてあげなさい」と言われたのに、どうして「私」は勇気が出なかったのだろう		12
	5 どうして父は「行ってお話ししてあげなさい」と言ったのか考える。【全体・個人】	どうして父は「行ってお話ししてあげなさい」と言ったのだろう		15
		◎隠れられてしまった女の子の気持ちを考えてほしかったのかな ◎自分優先の考えでなく、相手がどうしてほしいかを考えてほしいのかな ◎かわいそうって思うだけじゃなくてその子のために何ができるのか考えてほしいのかな ◎子どもの時には気づかなかった父の言葉の意味を黒柳さんは理解してその思いやりの心がユニセフや福祉の活動につながっているんだ。	・「行ってお話ししてあげなさい」には父のどんな気持ちが含まれているのか、また、「私」に隠れられた女の子がどんな気持ちになるのかに触れることで、自分優先に考えてしまっていた「私」の気持ちやその「私」を見て父が伝えたかったことに気づくことができる。	

		◎「私」は今まで自分の気持ちを優先させて、女の子の気持ちについて考えられてなかったんだな。 ◎自分も人のことを考えることってできているのかな。	人のことを考えて行動することの大切さに気づくことができたか授業の様子と学習カードから評価する ・人のことを考えて行動することの大切さに気づくことができない生徒には、板書で今までの学習を振り返ることで「私」が女の子に対してどんなことができたのか考えることができる。	
終末	5 振り返りを行う。【全体・個人】	◎かわいそうと思うだけではなくてその人のために何ができるか、どうしてほしいかを考えることが大切なんだな。 ◎人に親切のすることってすごく勇気のいることだと思う。	・本時の授業を振り返り、学んだことや大切だと思うことを考えることで、これからの生活での人との関わり方や自分の行動について考えることができるようになる。	8

6 板書計画

父の言葉
 主人公：黒柳徹子

挿絵

隠れた「私」の気持ち

- ・徹子の部屋
- ・窓際のトットちゃん
- ・ユニセフ親善大使
- ・歩いている私を見せたくない
- ・どう思われるか怖い

「行ってお話してあげなさいと言われたのにどうして私は勇気が出なかったのだろう

どうして父は「行ってお話してあげなさい」と言ったのだろうか

- ・自分だけ治って女の子に申し訳ない
- ・治った私を見て辛い思いをする
- ・なんて声をかけていいかわからない
- ・隠れられた女の子の気持ちを考えてほしかった
- ・自分優先じゃなくて相手がどうしてほしいかを考えてほしかった

準備するもの

- ・フラッシュカード
- ・学習カード (39 枚)